

我南小発 第17号

令和6年6月28日

我孫子市教育委員会 へ

我孫子市立布佐南小学校学校運営協議会
会長 志垣 健二郎

令和6年度 第2回学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第12条の規定により、次のとおり報告します。

出席委員名 佐々木祐子，大野将史，志垣健二郎，吉岡朋久，駒場アサ子，櫻井實

記録者 氏名 大野将史

(令和6年 6月25日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
※授業参観後、協議会		
1. 会長あいさつ	会長	○本日は様々な場面を見たと思うので、忌憚のない意見をいただきたい。
2. 校長あいさつ	校長	○今年度、南小でははじめての学校運営協議会となる。今後の活動について、今年目指す形について、協議したい。
3. 教育課程の説明	教頭	○1学期の学校行事についてスライドを用いて説明 ○2学期の学校行事予定についてスライドを用いて説明
4. 協議等		
①授業の感想	委員	○何十年ぶりに学校での学習の様子を見学した。特別支援学級と通常学級の行き来に感動した。学校ではきめ細かい指導がされている。
	校長	○若手にも特別支援学級の経験をさせている。特別支援について専門性を持っている職員がたくさんいる。一人一人の多様性に合う学びの保証をしている。
	委員	○特別支援の充実している様子がみられた。通常学級の児童への指導が行き届いている。教室から出て学ぶこ

		とが当たり前で、出る時も戻ってくるときも当たり前 に全体が受け入れている様子だった。
②今後の地域学校協働 活動について	校長	○「笑顔と活気」「やってみよう」を合言葉にして、そ こに向けて子どもたちがチャレンジできるように、各 職員の意識を方向付けていきたい。
		○小中一貫、コミュニティ・スクールについて、資料を もとに説明。目的は、「南っ子の笑顔と活気」。そのた めに、小中を一貫させる。そのために、地域と協力す る。そこをぶれずに貫きたい。南小の教育課程を着実 に実行することが一番大切である。
	委員	○校長は朝、登校した児童に暖かい声掛けを行って いる。校長の思いが子どもたちに伝わっている。
		○教員は力をつけていくために研修をしていくことが必 要。教員の研修時間や、子どもたちのための時間を作 るためにコミュニティ・スクールは存在している。で きることは応援します。
	校長	○地域に頼っていききたい部分はあるのでお願いしたい。
	会長	○地域と学校で子どもについて見えている部分が違うと ころがある。学校にも、地域からの情報が必要とな る。もっと学校は地域を利用してほしい。
	校長	○学校の活動の手助けを地域にお願いしたいことと、地 域の活動に子どもたちの参加を呼び掛けるものがあ る。学校での活動は教育課程の中に含まれるものとな るので、整理していきたい。
	会長	○吹奏楽部の発表の場を作ることなど、やっていきたい 活動はある。
校長	○活動について、投げかけていただければ実現可能か、 教育課程の中に組み込んでいける活動か相談するこ とができるので、やってみたいことが出てきたら、教え	

<p>5. 諸連絡・閉会</p> <p>6. 会食 (給食を試食)</p> <p>7. 解散</p>	<p>委員</p> <p>校長</p> <p>委員</p> <p>校長</p>	<p>ていただき、検討の場を設けていきたい。</p> <p>○おいしい。</p> <p>○確かに南小の給食はとてもおいしい。そして、我孫子市は、どの学校の給食もおいしい。給食室はエアコンが入っていないので調理員は苦勞しているが、栄養教諭、調理員が努力してくれている。</p> <p>○昔の学校はパン食が多かったが、米食が増えていることがわかった。</p> <p>○南小では栄養教諭が、おいしい給食を「更に美味しい」と思ってもらえるような工夫や取り組みを日常の食育の中でしている。</p>
--	---	---

傍聴人 0 人